

「ありがとう」

週末大阪に最接近した台風 10 号ですが、大阪では大きな被害が出ませんでした。各地で大雨をもたらした、川の氾濫や土砂災害など大きな被害をもたらしました。ニュースでも言っていました。これだけゆっくり動く台風は今までほとんどなかったそうです。校長先生も記憶にありません。これからはこのように動きが遅く、大量の雨をもたらす台風が増えてくるのかもしれませんが。この夏は台風 10 号や南海トラフ地震臨時情報発表騒動など、これまで経験したことがない自然災害が身近に感じられた夏になってしまいました。必要以上に恐れることはありませんが、真剣に行う避難訓練など、できる備えは十分にやっておきましょう。

先週の始業式で「ありがとう」は α 波を出して、自分の力を最大限に発揮する言葉ですというお話をしました。今日はそれに関連したお話をします。小林正観という「ありがとう」という言葉にこだわった人のお話です。この人は次のような実験を行いました。2つのペットボトルを用意し、1つには「ありがとう」、もう1つには「ばかやろう」と書いて水道水を入れます。一晩中置いた水を凍らせて結晶を撮影すると「ありがとう」と書いた水道水だけに美しい結晶ができたそうです。水がきれいになったんですね。この実験のように、「ありがとう」という言葉を投げかければ、70%の水分でできている人間は血液などがきれいになり、健康になっていくのでは？と考え、できるだけ沢山「ありがとう」を唱える運動をされました。その結果、病気が治ったり、健康になったりした人が多く出てきたそうです。

先週の話に合わせて考えると「ありがとう」等の感謝の言葉は自分を幸せにするだけでなく、周りの人も幸せにできる言葉とも言えます。最初は意識しないといけないかもしれませんが、「ありがとう」という言葉をできるだけ使ってみてはいかがでしょうか？何か少しずつ変わるかもしれませんね。これで校長先生のお話を終わります。